

1. 競技規則について

本大会は2019年度日本陸上競技連盟規則、競技会における広告及び展示物に関する規定及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 競技場について

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を厳守されたい。

3. 練習会場等について

10月10日(木)～10月13日(日)の期間に「練習会場使用日程」に示す時間帯で、『14. 練習会場の使用について』にもとづき練習ができる。(競技役員の指示に従い練習すること)

4. 招集について

(1) 招集所はマラソンゲート外側(100mスタート地点後方)に設ける。

(2) 招集の方法

① 競技者は、招集完了時刻までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技役員にユニフォームのナンバーカードの確認を受け、腰ナンバー標識(1枚)を受け取り、出発までに右腰部やや後方につける。(トラック競技のみ)あわせてスパイクピンの長さ、靴底の厚さ(走高跳・走幅跳・ジャベリックスロー)及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。代理人による最終点呼は認めない。

② 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集完了時刻までに、その旨を本人または代理人が、招集所に用意した書類(2種目同時出場届)で競技者係に届け出る。トラック競技が先に開始される場合には、トラック競技終了後直ちに当該種目競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出る。

③ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。A・B・Cの各クラスから1人は必ず出場しなければならない。(但し、Aクラスの高校生は対象としない。)どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初に出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

(競技規則第170条10)

④ リレー競技に出場するチームは競技者(4人)の氏名と走者順及びナンバーを所定のオーダー用紙に記入し、競技者係に提出する。その締め切り時刻は第1組招集完了時刻60分前とする。準決勝・決勝についても必ず提出する。

⑤ 招集完了時刻は、競技日程の通りとする。

⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなして処理する。

⑦ やむを得ず欠場する時は、競技者の所属する監督が「欠場届」を招集所で受取り、必要事項を記入の上、招集完了時刻までに招集所に提出する。

⑧ 招集所待機中の練習等は禁止とする。

5. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、主催者が用意したもの(胸・背用1枚)を使用し、配布された大きさのままユニフォームに固定する。跳躍種目に参加する競技者は、背または胸のみでもよい。

(2) 3000mは特別ナンバーカードを使用する。招集時に配布するので、ナンバーカードを持参して受け取ること。

(3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識(1枚)を配布する。(招集時に受け取り、右腰部やや後方につける。)

(4) ナンバーカードとプログラムの配布については、次のように行う。

・配布場所 : 等々力競技場(正面駐車場 中央付近) ※10月10日(木)の開場時間は11:00です。

・配布時間 : 10月10日(木) 11:00～17:00

10月11日(金)	8:00~17:00
10月12日(土)	8:00~17:00
10月13日(日)	8:00~13:00

6. 競技場内への入場と退場について

(1) トラック競技出場者の入退場について

- ① 招集場所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- ② フィニッシュ後、フィニッシュ側の退場口の通路を利用して、招集所マラソンゲート(100mスタート地点後方)から退場する。

※但し、200m、1500m、3000m、リレー参加者の競技者はスタート地点に戻り荷物を持って、フィニッシュ側の退場口の通路を利用して、招集所マラソンゲート(100mスタート地点後方)から退場する。

- ③ 決勝においては補助員が荷物を運搬する。1~8位の入賞者(リレーを除く)は、入賞者係によってインタビュー室(1303室)に誘導される。

(2) フィールド競技出場者の入退場

- ① 招集場所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- ② 跳躍及び投てき競技役員の誘導によりフィニッシュ側ゲート退場口から退場する。
- ③ 決勝において1~8位の入賞者は、入賞者係によってインタビュー室(1303室)に誘導される。

7. 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) チャレンジレース・予選・決勝の組み合わせ及び全競技のレーン順・試技順は、競技規則第166条第167条により主催者が公平に決める。

チャレンジレースからの予選進出者数は標準記録突破者数が29名以下の種目は3名以上とする。

標準記録突破者数が30名以上の種目は3名とする。予選は3組以上で実施する。

- (2) トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載のナンバーの左に数字で示す。
- (3) トラック競技の予選・決勝のレーン順は、招集所付近に掲示する。
- (4) 同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部(電気計時1/1000秒)まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。ただし、800m以上の競技(リレーを除く)では、同タイム着差なし(1/1000)の場合、次のラウンドに進むことができる。(競技規則第167条)

8. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- ④ 4×100mリレーの各走者は、同一のユニフォームでなければならない。
- ⑤ 4×100mリレーの第2・第3・第4走者は、出発係から渡されたマーカーを1ヶ所使用することができる。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ⑥ ハードル種目の規格は、次の通りである。

性別	種別	高さ	ハードル間	性別	種別	高さ	ハードル間
男子	A	0.991m	9.14m	女子	A	0.762m	8.5m
	B	0.914m	9.14m		B	0.762m	8.0m

- ⑦ スタート方法は競技規則第162条6・7により、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。
スタートの合図は英語“On your marks(オン・ユア・マークス)”, “Set(セット)”とする。

(2) フィールド競技について

- ① 跳躍・投てき（ジャベリックスロー） 競技者は、主催者が用意したマーカーを2ヶ所使用することができる（曲走路内に限る）。渡されたマーカー以外の使用は認めない。
- ② フィールド競技における競技場内での練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ③ 走幅跳は、予選を実施しない。参加人数が極めて多い場合は、2つの並行するピットで2組に分かれて決勝を開始する。3回の試技後、上位8名がそれぞれのピットで残り3回の試技を行う。
- ④ 走高跳は、予選を実施しない。並んで設けられたピット2ヶ所に分かれて決勝を開始する。それぞれ最後の高さまで競技を行い、それぞれのピットの結果を総合して順位を決定する。優勝決定戦が必要な場合、1組で出た場合はピットAで、2組で出た場合はピットBで1・2組で出た場合はピットAで実施する。（この際不公平が生じないように十分な足合わせの時間を設ける）
- ⑤ 跳躍競技の競技場所は、1組はピットA、2組はピットBとする。
- ⑥ 砲丸投・円盤投・ジャベリックスローは予選を実施しない。3回の試技後、上位8名が更に3回の試技を行う。
- ⑦ 投てき競技における「身体の保護」については競技規則第187条4に従う。

(3) 抗議について

競技規則第146条に従って定められた時間内に、競技者自身または監督が口頭でTICに行く。

さらに、この裁定に不服の場合は預託金（1万円）を添え、TIC、当該総務員を通じてジュリーに文書（上訴申立書）で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる。

(4) 助力について

競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話・スマートフォンもしくは、類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。（競技規則第144条3b）

(5) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては、当該競技から除外される。

警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

（競技規則第125条5）

(6) プログラムに記載された競技者が理由なく出場しなかった時は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない措置を講ずることがあるので、欠場する場合は必ず欠場届を競技者係まで提出する

9. バーの上げ方について

走高跳決勝におけるバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは次の通りとする。

* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。

種目	性別	種別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	A	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	1m89	3cm
			1m80							
	女子	A	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	
			1m55							

10. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 主競技場における競技前の練習用としても、個人の用器具を競技場内に持ち込んではいない。
- (3) 投てき物の重量は、次の通りである。

性別	種別	種目	重量
男子	A	砲丸投	5.000kg
	B	砲丸投	4.000kg
	A・B・C 共通	円盤投	1.500kg
		ジャベリック	0.300kg
女子	A	砲丸投	4.000kg
	B	砲丸投	2.721kg
	A・B・C 共通	円盤投	1.000kg
		ジャベリック	0.300kg

11. 表彰について

- (1) 最優秀選手賞は男子1名、女子1名の計2名を選考委員会で選び、競技会終了後授与する。
- (2) 各種目の優勝者ならび2位～8位の入賞者の表彰は、表彰台で行う。
- (3) 表彰を受ける競技者は競技終了後、入賞者係によりインタビュー室経由で正面ロビーに設けられた表彰者待機エリアに誘導され待機する。

12. 一般的注意事項

- (1) 各都道府県にコーチIDカードは6枚発行する。更に各参加団体にコーチIDカードを1枚発行する。
(ただし、男女で出場している参加団体には2枚まで発行する)。いかなる場合でも再発行はしない。
- (2) 商標について
商標等の規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に違反したものについて主催者で処置する。
 - ①上半身の衣類（ベスト・レオタード等）
 - ・ベスト：衣類の製造会社名／ロゴを前に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。
 - ・レオタード：衣類の製造会社名／ロゴを前に1ヶ所または2ヶ所表示できる。1ヶ所の場合は、文字の高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で面積30cm²以内の長方形とする。2ヶ所の場合はウエストより上部、下部にそれぞれ1ヶ所とするが、それぞれの表示が接してはならない。それぞれの文字の高さは3cm以内、トータルロゴの高さは4cm以内で、面積は20cm²以内の長方形とする。
 - ・トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット：衣類の製造会社名／ロゴを衣類の前（右胸か左胸）に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルロゴの高さは5cm以内で、面積40cm²以内の長方形とする。
 - ②下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等〔レオタードを除く〕）
 - ・製造会社名／ロゴを1ヶ所表示することができる。高さは4cm以内、面積20cm²以内とする。（ソックスは高さ3cm以内、面積6cm²以内とする）
 - ③競技中に競技者によって使用されるその他の衣類（ヘッドギア・帽子・ヘッドバンド・手袋・メガネ・サングラス・リストバンド等）
 - ・製造会社名／ロゴは、衣類（製品）1つにつき1ヶ所表示することができる。面積は6cm²以内とする。
 - ④バッグ
 - ・製造会社名／ロゴは、各バッグ2ヶ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm²以内とする。
- (3) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室（1309号室）に連絡する。
- (4) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者にて行う。大会参加中に負傷した場合は傷害保険補償内容を適用する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意する。

- (6) 遺失物についてはTICで保管する。保管期限は10月13日(日)競技会終了までとする。
問い合わせ先：(044) 722-0303 (大会期間中のみ)
- (7) 記録はその都度発表するが、別に選手招集所付近に設置の記録掲示板に掲示する。
- (8) 応援旗、部旗、横幕等は正面スタンドを除き、1階バックスタンドとサイドスタンド後方の最上部の手すり部分と2階サイドスタンド、バックスタンドの手すり部分のみとする。
個人名等を記した旗、及びすべてののぼりを固定してはいけない。
- (9) スタンドにおけるテント・シートの使用は禁止する。スタンド席でのロープ等を使用しての場所取りも禁止する。スタンド裏通路(コンコース)は都道府県別に割り振られた場所を使用し、シートの使用のみとする。また、シート禁止区域には敷かないようにすること。
施設保護のため、ガムテープ等の粘着痕が残る可能性のある物は使用しない。
- (10) 提出書類等は次の通りとする。

	提出書類	提出場所
①	欠場届	招集所
②	2種目同時出場届	招集所
③	リレーオーダー用紙	招集所
④	上訴申立書	TIC
		総務員(預託金10,000円)

- (11) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込む。

13. 練習会場の使用について(練習会場注意事項)

(1) 主競技場(等々力競技場)

- ① 10月10日(木)は、トラック競技・跳躍競技のみ開放する。
※開放時間等は、『練習会場使用日程』にて確認すること。
- ② 練習時の競走路の使用は、次に示したレーンを使用する。主競技場での飲食は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。
- ③ 競走路の使用は、以下の通りとする。なお、逆走は固く禁止する。
- * 1~2レーン 800m以上の種目
 - * 3~5レーン 100m~400m
 - * 6~8レーン リレー
 - * メイン直走路 スターティングブロック&ハードルの設置

(2) 補助競技場

※コンディションが悪いためトラック部分の使用規制があります。トラックの周回利用はできません。

- ① 10月10日(木)は、投てき競技のみ開放する。
- ② ウォーミングアップは、第二曲走路からフィニッシュ地点の間で行う。
フィールド内の「芝」部分への立ち入りは禁止とする。
- ③ 投てき練習は、『練習会場日程』で示した通りとする。ただし、投てき練習の使用状況によっては競技役員の判断により練習の種目・時間を変更する場合がある。
- ④ 危険防止のため、荒天等で安全の確保が困難な場合は、予定時間内においても練習会場を閉鎖することがある。
- ⑤ サークル・ピットでの練習は、順番を待つ人がいるときには、1人1回につき、1投とする。
- ⑥ 投てき器具は、必ず各自で持参した物を使用する。(貸し出しはしない)
- ⑦ 補助競技場における練習は、種別の競技時間に合わせて「優先使用時間帯」を設けることがある。
- ⑧ 私物をレーン上に置く等で、レーンを占有しない。

(3) 雨天練習場(等々力競技場バックスタンド下)

- ① 使用可能な時間帯を確認する。

- ②この場所での飲食等は一切禁止とし、ゴミはすべて持ち帰る。
- ③レーンの使用は、入口付近の案内板に示されたレーンを原則使用する。

(4) その他

- ①練習は各個人が、指定された場所・時間で行い、事故防止に万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行う。大会参加中に負傷した場合は、傷害保険補償内容を適用する。
- ②スタンド裏コンコースでの練習は禁止とする。
- ③練習場にハードル等の持ち込みはできない。※ハードルは主催者側で準備した物を使用すること。
その他器具を使用した練習は安全上の理由から認めない。
- ④補助競技場における投てき練習に必要な用器具は、各自が持参する。
- ⑤荷物等は、個人が責任をもち管理する。ゴミは所定の場所で処理する。
- ⑥会場内（主競技場・補助競技場・雨天練習場）の入退場時は、必ずIDカードを明示する。また、監督・コーチは会場内においては常にIDカードが確認できるように携帯する。
- ⑦競技場内に持ち込める飲み物は「水」のみとする。

『練習会場使用日程』 10月11日～13日の主競技場の開場時間は8:00となります。

練習会場	主競技場	補助競技場	雨天練習場
条件	全天候型	全天候型	全天候型
トラック	◎	※一部規制有り	※一部規制有り
跳躍	使用時間帯要確認	使用時間帯要確認	×
投てき	×	◎	×
10/10 (木)	11:30～17:00 トラック種目・跳躍種目	男女 SP : 11:30～16:30 ABC 男 DT : 11:30～12:45 ABC 女 DT : 12:45～14:00 ABC 男 JT : 14:00～15:15 ABC 女 JT : 15:15～16:30	11:30～17:00 トラック種目 ※ハードル種目・リレー種目を除く
10/11 (金)	8:00～9:15 トラック種目	トラック種目・跳躍種目 7:30～17:00 男女 SP : 8:00～16:30 ABC 男 JT : 8:00～9:30 ABC 女 JT : 11:45～13:15 ABC 男 DT : 13:30～15:00 ABC 女 DT : 15:00～16:30	8:00～17:00 次の時間帯はH専用となります。 B 男子 110mH / A 女子 100mH チ 8:00～9:30 予 10:45～12:05 決 13:55～15:05
10/12 (土)	8:00～9:15 トラック種目	トラック種目・跳躍種目 7:30～17:00 男女 SP : 8:00～16:00 (※ 8:00～9:10 B女限定) (※ 11:55～13:05 B男限定) ABC 男 DT : 8:30～9:10 ABC 女 DT : 12:25～13:05	8:00～17:00
10/13 (日)	8:00～9:15 トラック種目	トラック種目・跳躍種目 7:30～16:00 男 SP : 8:00～9:20 女 SP : 11:00～12:20	8:00～16:00 次の時間帯はH専用となります。 B 女子 100mH / A 男子 110mH チ 9:55～11:35 予 12:00～13:20 決 14:10～14:50

* 備考 SP=「砲丸投」、DT=「円盤投」、JT=「ジャベリックスロー」の略

※投てき

注意：『練習会場使用日程』は予定です。荒天等により変更となることがあります。競技役員の指示に従って利用して下さい。

10月10日(木)、11日(金)は補助競技場脇の運動広場も体操・ジョギング等で利用できます。